

目 次

第一章	1
1. 真空管の開発史を辿って	2
2. 受信管年表	3
3. 米軍用受信管のVT-No.と民生用No.の対照表	8
4. CV-No.と民生用No.の対照表	9
5. 東京電気(現東芝)梅田徳三郎氏に学ぶ	10
6. 電子管の黎明期	11
7. オーディオンバルブについて	12
8. 六極真空球	13
9. UX 227	14
10. 昭和9年という年	16
11. 6C6, 6D6の誕生について	18
12. リモートカットオフ管の電極構造	19
13. 幻の“6D5”をめぐって	21
14. 米国系メタルチューブのコレクション(Ⅰ)	25
15. 6AC7/1852, 6AB7/1853	32
16. 6L6の系譜	33
17. 6L6/807 のオリジナル	36
18. 6L6/807 あれこれ	38
19. MG管 について	39
20. ハイGm管 開発小史	40
21. 幻の分数増幅率管	44
22. “Tube or not tube”	45
23. 拘りの 0-V-2	46
24. メタル ブラウン管 913の電極構造	47
第二章	48
25. 「鑛石ラヂオ」の時代	49
26. FMの 鑛石ラヂオ	51
27. 高1ストレート再評価への試み	52
28. 「ラヂオ」	55
29. ビーム ペントード	57
30. CROSLY社 BOOK型 CONDENSERの測定	59
31. 1600シリーズについて	61
32. 夢多き 複合管の歴史	62
33. ACORN 管とその周辺の MT 管	63
34. 電気ラヂオ (エリミネーター)	65
35. ビーム出力管6AJ6について	66
36. 米国系メタル管 のコレクション(Ⅱ)	67
37. FM2A05A へのレクイエム	72
38. 真空管の世紀と共に	76